

第28回防災まちづくり大賞受賞団体の決定

消防庁国民保護・防災部地域防災室

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、今回で28回目を迎えました。地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

今回は全国各地から55事例の応募があり、学識経験者等で構成される選定会議において、他の地域の模範となる優れた17事例が選定されました。

受賞事例数

	応募総数	55
表彰区分	総務大臣賞	3
	消防庁長官賞	5
	日本防火・防災協会会長賞	9
	受賞事例総数	17



防災まちづくり大賞シンボルマーク

災害による被害を軽減するためには、地域の防災力を強化すること、とりわけ地域の方々の「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意識と連帯感に支えられた自主的な防災活動を推進していただくことが重要です。

平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、住民、自主防災組織、消防団、地方公共団体、国等の多様な主体が、相互に連携協力して、地域防災力を高めていくことの重要性が示されました。

受賞団体の皆様には、今回の受賞を契機として、より一層日頃からの活動を充実・発展させ、引き続き、地域防災力の向上にご尽力いただくことを期待しています。

〈総務大臣賞受賞事例の紹介〉

今回、総務大臣賞を受賞された3事例の取組を紹介します。

- 団体名：三重県立北星高等学校
- 事例名：「命の矢印」プロジェクト
～要支援者を含む地域との合同避難訓練と「防災の日常化」の取組～
- 所在地：三重県四日市市

【団体概要】

本校は平成18年に定時制と通信制高校が統合し発足しました。三重県北部に光り輝く星のような高校になってほしいという願いのもと、定時制・通信制ネットワークの拠点校として様々な生徒が学んでいます。

安全・安心な環境で生徒自身が自分の時間割を作成するなど「自分ならではの学び」を支援する学校として、令和5年5月現在、126名の職員のもと、定時制528人、通信制1080名が学んでいます。

【背景】

令和3年度は、災害時に復旧の早い高規格道路であるバイパス道路付近の高台公園を避難先に設定し、避難経路を確認するイメージ動画を作成、オンライン視聴することで、コロナ禍でも効果的な防災学習を実施しました。令和4年度は、防災学習をとおして10年間連携する富田地区自主防災隊と合同避難訓練を計画・実施しました。高齢化が進む地元地域の中で、高校生が率先避難者として地域住民も巻き込んで避難できるようにする取組を目指してきました。

【取組の内容】

令和5年度は、これまでの学校と地域連携の集大成として、定時制の生徒と富田地区住民が連携し、高齢者や要支援者役の地域住民を高校生がリアカーや車椅子で避難場所まで運ぶなどの本格的な合同避難訓練を実施しました。また、この合同避難訓練を機会に、訓練時のみならず、学校と地域の「防災の日常化」を目指し、津波災害時に逃げるべき高台方向を意識する「命の矢印」シールを学校周辺住民に各戸配布する取組を展開しました。

【成果】

取組を通じて、自主防災隊長からは「この地区は高齢者が多く、地域の高齢者や介護が必要な住民にとって、高校生の存在があることは大きい」、合同避難訓練で高齢者をリアカーで運んだ高校生からは「この人の命を本当に守りたいと思った」などの感想がありました。アンケートでは、訓練

に参加した生徒の81%が「訓練に参加し、防災意識が高まり満足した」と回答しました。訓練後も、その意識を継続させるために「命の矢印」の取組を実施し、「防災の日常化」の意識を学校と地域が共有することができました。



高齢者等要支援者を意識した合同避難訓練

- 団体名：株式会社とくし丸
- 事例名：全国で展開する移動スーパーのネットワークや機動力を生かした被災地での食品・日用品の供給。および自治体や警察と連携した見守り活動の実施
- 所在地：徳島県徳島市

【団体概要】

買い物にお困りの高齢者を中心に、食品や日用品を販売する移動スーパー「とくし丸」を展開しています。

とくし丸の販売パートナーは個人事業主が務め、地域密着で買い物難民の課題解決を担うビジネスオーナーとして活躍しています。また、自治体や警察と「見守り協定」を締結し、販売活動を通じて地域の見守り役も担っています。

【背景】

買い物にお困りの方に買い物の機会を提供すべく、移動スーパー事業を展開し、と

くし丸本部と提携スーパー、販売パートナーが三位一体となり、販売活動を行なっています。

都市部や過疎地を問わず、全国47都道府県で稼働台数を大きく伸ばしており、移動スーパーの機動性の高さや行政との関係性の深さを活かした被災地支援・防災に貢献する活動に取り組んでいます。

【取組の内容】

(1) 日々の見守り活動：全国の自治体や警察署と見守り協定を締結しました。商品を販売する際に高齢者の見守りや安否確認に協力できる体制を構築しています。

(2) 防災の啓発：防災パンフレットの配布やお声かけを通じて、避難所の確認や備蓄品などの啓発を実施しました。

(3) 被災地での救援活動：平成30年の西日本豪雨の際には、豪雨により休業になった岡山県倉敷市のスーパーの代わりに、移動スーパーの車両を手配し仮設店舗として営業を再開、また令和5年の台風7号の被害が集中した鳥取県佐治町において、買い物に行くことが困難な住民を訪問しました。

【成果】

被災地で復旧作業に励む作業員やボランティアの方々を中心に、食品や日用品を提供することができました。また、全国約17万人の顧客の日々の健康や安全を見守る役割を担い、万が一のことがあった際に自治体と連携した対応ができる仕組みを構築することで、全国の移動スーパーをチャンネルとして、通常時は地域の見守り活動や防災の啓発を行い、災害発生時には被災地での救援活動を行うことができるフェーズフリーな事業展開を実現しました。



対面での直接販売を通じた日々の見守り活動

■ 団体名：若松区東28区市民防災会

■ 事例名：地域防災活動のPDCAサイクルが生んだ強力（協力）な共助グループ

～畠田地区向こう三軒両隣、1人の犠牲者も出さない防災体制～

■ 所在地：福岡県北九州市

【団体概要】

若松区東28区市民防災会は、北九州市若松区畠田一丁目および二丁目に位置する約300世帯、約800人の小さな住宅地です。

古川裕子市民防災会長（自治会長・防災士）と古野陽一公民館長（北九州市みんなde Bousai まちづくりファシリテーター）をリーダーに、「みんなの命をみんなで守る」市民防災活動を行っています。

防災研修や訓練の継続に加えて、住民相互の協力関係が日頃からつくられるように、自治会・公民館の様々な行事も連動させています。

【背景】

平成25年に地域の大半が土砂災害警戒区域に指定されたものの、住民の防災意識は低く、小学校区で行われた防災訓練には、わずか4名しか参加しませんでした。この状況に危機感を覚え、畠田防災実行委員会（6人で構成）を立ち上げ、住民すべてが主体的に防災に取り組むことを目指して活動を始めました。

実行委員会が企画して市民防災会に提案し、自治会組織を土台に全世帯が積極的に参加する活動に発展しています。

【取組の内容】

「島田緊急ネットワーク」を軸に、事前研修、防災訓練、訓練シートでの意識把握、事後研修を毎年行っています。島田緊急ネットワークは、早期避難が必要な高齢者や障がいを持った方に電話で確実に情報がいきわたることを目的に、組（10世帯～40世帯）を数世帯のグループに分け、効率的な連絡網と互いに助け合える関係をつくり出しました。住民の話し合いと協力関係を大切にし、毎年度組単位で全世帯が話し合いネットワークを更新しています。また、毎月全世帯配布の町内広報紙とLINEで活動の呼び掛けと実績報告をしています。

【成果】

毎年の防災訓練には200～250人が参加し、グループ単位で助け合って連絡・行動することが定着しつつあります。また、非常時に備えた家庭での話し合い、非常持ち出し品の準備・点検、循環備蓄の準備の状況などを問う防災訓練シートの記入について90～95%の世帯が取り組んでいます。

出水期や台風の襲来で毎年数回、避難情報等が発令されますが、その都度、緊急ネットワークで住民同士が連絡を取り合い、高齢者世帯等では家族宅やホテル、市民センターに早めに避難することが常識化してきています。



避難訓練の土のうづくり

〈第28回防災まちづくり大賞受賞団体〉

〈総務大臣賞受賞団体〉

- ・三重県立北星高等学校（三重県四日市市）
- ・株式会社とくし丸（徳島県徳島市）
- ・若松区東28区市民防災会（福岡県北九州市）

〈消防庁長官賞受賞団体〉

- ・多賀城市防災主任者会（宮城県多賀城市）
- ・戸越銀座商店街連合会（東京都品川区）
- ・総合警備保障株式会社 横浜支社・横浜市西消防団・横浜市水道局（神奈川県横浜市）
- ・与縄地区防災計画推進会（山梨県都留市）
- ・鳴門市（徳島県鳴門市）

〈日本防火・防災協会会長賞受賞団体〉

- ・鹿折まちづくり協議会（宮城県気仙沼市）
- ・片品村・片品村自主防災会（群馬県片品村）
- ・埼玉県立日高特別支援学校（埼玉県日高市）
- ・御殿場市消防団 女性部（静岡県御殿場市）
- ・株式会社 山下組（三重県志摩市）
- ・北花田グランアヴェニュー 防災会（大阪府堺市）
- ・「子育てファミリーのための防災ブック」を制作・「おやくとぼうさい」講座を開催する防災士ママさんたち（大阪府堺市）
- ・早稲田学区自主防災連絡協議会（広島県広島市）
- ・黒髪校区第4町内自治会自主防災クラブ（熊本県熊本市）

第28回防災まちづくり大賞受賞団体の活動内容が掲載された事例集は、4月中旬頃、総務省消防庁ホームページの「防災まちづくり大賞」のページに掲載する予定です。

<https://www.fdma.go.jp/mission/bousai/ikusei/ikusei002.html>

■問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災室
TEL：03-5253-7561